

2019 年 12 月 13 日

日本造血細胞移植学会移植認定診療科責任医師 各位

移植医師 各位

登録医師 各位

（公財）日本骨髄バンク 医療委員会

遠心分離中にバッグが破損し骨髄液全量が使用不可となった事例について（海外情報）

拝啓 日頃より骨髄バンク事業にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、この度、世界骨髄バンク機構（以下、WMDA）より、骨髄バッグの破損事例が報告されましたので、情報共有までにお知らせします。

国内における破損事例については過去にも複数回ご案内しており、先生方には日頃より十分にご配慮いただいていることと存じますが、今一度、貴施設でも周知くださいますようお願い申し上げます。

敬具

■WMDA からの情報

○概要（患者・ドナーいずれも海外）

移植施設で骨髄液を遠心分離（血漿除去）中にバッグが破裂、骨髄液が全量使用不可となり、提供ドナーから追加採取することとなった。

○考えられる原因

運搬に使用したバッグをそのまま遠心分離にかけた。通常使用される運搬用バッグは、遠心分離、保存、凍結に耐え得る保証はされていない。なお、移植施設は遠心分離までの処理はマニュアルを遵守しており、手順に不備はなかった。

○WMDA からの推奨

- ・移植施設は、一般的に運搬用バッグが遠心分離に適していないことを認識すること。
- ・いずれの処理を行う際も、目的に応じて品質保証されたバッグにプロダクトを移し替えること。

<参考情報：国内における同様事例の過去のご案内>

[https://www.jmdp.or.jp/medical/notice\\_f/post\\_383.html](https://www.jmdp.or.jp/medical/notice_f/post_383.html) (2018 年 12 月 14 日付)

[https://www.jmdp.or.jp/documents/file/04\\_medical/notice\\_f/2016\\_02\\_15\\_4.pdf](https://www.jmdp.or.jp/documents/file/04_medical/notice_f/2016_02_15_4.pdf) (2016 年 2 月 15 日付)

[https://www.jmdp.or.jp/documents/file/04\\_medical/notice\\_f/2013\\_10\\_22.pdf](https://www.jmdp.or.jp/documents/file/04_medical/notice_f/2013_10_22.pdf) (2013 年 10 月 22 日付)